



大 船 山

ホームページアドレス https://www.city.ena.lg.jp/enaschoolnetwork/e/kamiyahagi_1/index.html

第10号

令和7年12月18日

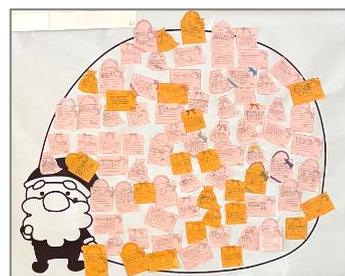
人に優しくできること、人の優しさに感謝できること、人の喜ぶ顔をうれしく思えること

～ひびきあい活動の取組から～

校長 高橋 かおり

11月以降、熊にインフルエンザにと、安全に関わる心配事が続きました。その度に、保護者の皆さまのご協力をいただきましたおかげで、35人の上矢作っ子は元気に今年を終えられそうです。ありがとうございました。

明日は、学年閉鎖で延期していた「ひびきあい集会」を行います。各学級が「ひびきあい活動」で取り組んだこと(各学級の取組内容は、「大船山」第9号にて紹介しました)や、全校での取組「思いやりキャンペーン」について発表します。「思いやりキャンペーン」の廊下掲示を見ると、色々な形の「思いやり」が溢れています。



【高学年「ひびきあい活動」
掲示
(イラスト提供：てがきっず)】

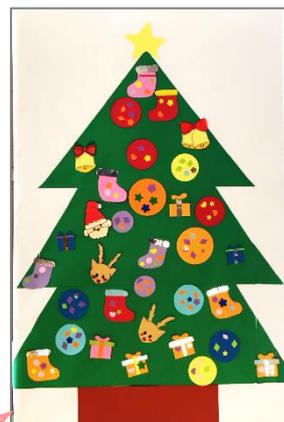
- ・ぶんだんの ときに、〇〇さんがとっても いい あいさつを してくれて、うれしかったです。
- ・◇◇さんが仕事を手伝ってくれて優しいと思いました。
- ・休んだ人の係の仕事を代わりにやりました。
- ・登校中に地いきの方があいさつをしていたから、ぼくも大きな声であいさつをしました。
- ・いつも□□さんが、代表委員に大きな声であいさつをしています。
- ・はしを ひろったら『ありがとう』と 言って くれて、じぶんも いい 気持ちになりました。

自分がしてもらってうれしかったこと、人のために自分から行動できたこと、仲間の頑張る姿に気付けたこと、自分がしたことを喜んでもらえてうれしく思ったこと……。子ども達は「ひびきあい活動」の取組を通して、「思いやり」や「親切」の捉えをどんどん広くしています。

体験を伴って「思いやり」や「親切」を知ることは、一人ではできないことです。しかし、学級や全校といった集団で過ごすからといって、一律に「思いやりとはこういうもの」と理解するのも、おかしな話です。仲間とのかかわりの中で、一人一人が考えたり仲間から影響を受けたりして、心を豊かにしていくことが自然な形なのだと思います。

また、学校でこのような学びができる土台は、各家庭や地域で子ども達が大切にされたり、「ありがとう」と言ってもらえたりする経験を、たくさんしていることにあると思います。子ども達を取り巻く環境は、成長と共に家族、友達、学級、学校、地域……と広がっていきます。心優しい上矢作っ子達が、安心してその優しさを発揮する中で、やがては「上矢作フォーラム」で中学生が見せてくれたような、「広い視野と、先の見通しをもって、周りの人や物事を思う姿」が育っていくのだと思います。

12月27日(土)～1月7日(水)の冬休み期間は、家族や地域の一員として過ごす時7間が増えます。ぜひ、子ども達を頼ってあげてください。ぜひ、上矢作の、〇〇家のすてきな年末年始の過ごし方を教えてあげてください。3学期始業式の日、子ども達からたくさんのお話を聞くことを楽しみにしています。皆さま、どうぞ、よいお年をお迎えください。



【図書委員会「すいせん図書読み切りキャンペーン」掲示】 全員達成！
「休んでいる子が読み切れないかもしれない…」と心配する委員の子達のやさしさもすてきでした。